

通常砂防事業事前評価調書

路線・河川等名	さかがわ 坂川	事業名	通常砂防事業	補助・単独の別	補助
事業主体	京都府	事業箇所(区間)	長岡京市 <small>あお</small> 栗生 地内		
事業概	目的	坂川は長岡京市の西部に位置し、要配慮者施設や人家等を保全対象とする危険溪流である。支川においては過去に整備済みであるが、本川については未整備であり、近年多発する集中豪雨により土石流が発生すると、甚大な被害を受ける恐れがある。そのため、砂防堰堤を整備し、土砂災害から地域の安全を確保する必要がある。			
	内容	砂防堰堤：N＝1基、溪流保全工 事業費：2.3億円			
	上位計画等	明日の京都 社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）			
	スケジュール	着手年度：平成30年度 完成目標 平成34年度			
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢及び地元情勢等	○保全対象には、竹寿苑（要配慮者利用施設）、避難所に指定されている西山短期大学、光明寺、栗生自治会館、人家11戸、道路が含まれ、土石流が発生した場合、地域住民に与える影響は大きい。			
事業の有効性	事業の効果及び費用対便益等	○土石流等の土砂災害から下流に存在する人家、公共施設を守り、人命を保全する事業であり、投資効果は大きい。(B/C＝8.3)			
事業の効率性等	コスト縮減代替案立案等の可能性及び良好な環境形成・保全	○木材の積極的な利用や景観に配慮した設計により、自然景観や歴史的景観の保全を図る。			
総合評価		本事業は、土砂災害からの人命保護及び地域の安全確保の観点から、新規事業着手の必要がある。			

さかがわ
 京都府 淀川水系 坂川 通常砂防事業（土砂災害対策（砂防）事業）
 きょうとひ ながおかきょうし あお
 京都府 長岡京市 粟生

○事業目的

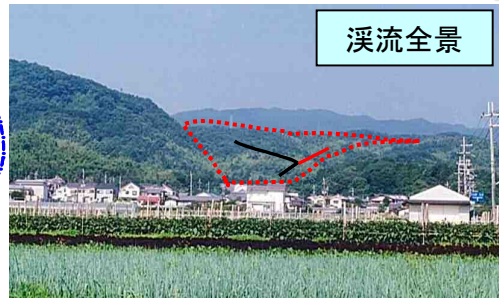
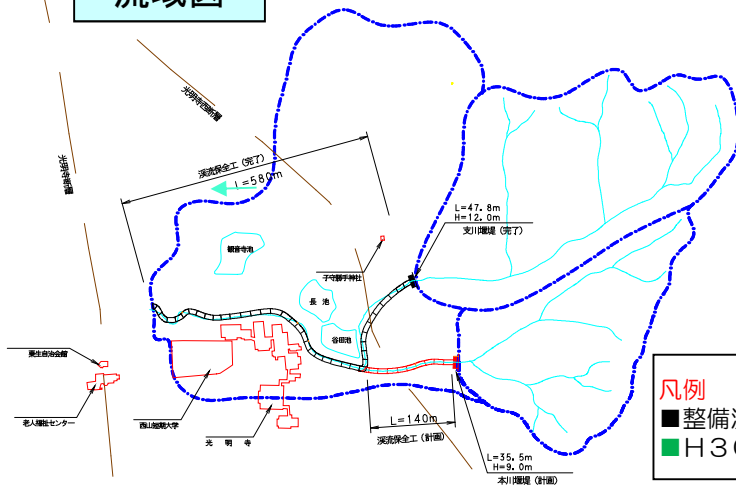
坂川は長岡京市の西部の山間部に位置し、人家、災害時要援護者関連施設、避難所、公民館、耕地を保全対象とする危険溪流です。流域内では荒廃が進み、不安定な土砂が多量に堆積しています。このため、近年多発する集中豪雨により土石流が発生すると、甚大な被害を受ける恐れがあるため、早急に対策を行う必要があります。

○事業効果

- 保全対象 : 人家11戸、竹寿苑（災害時要援護者関連施設）、西山短期大学（避難所）、西山浄土宗総本山光明寺、粟生自治会館、耕地0.43ha、市道400m
- 実施内容 : 砂防えん堤1基、溪流保全工
- 事業期間 : H30～H34
- H30事業費：25百万円（用地買収）

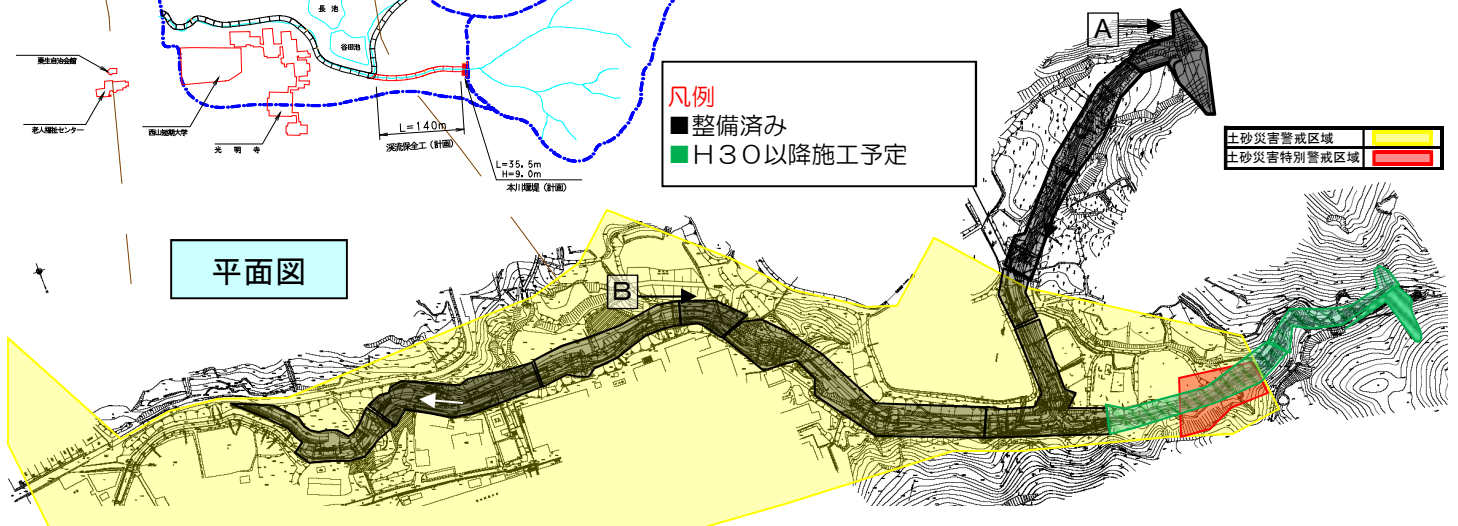


流域図



溪流全景

平面図



既設砂防えん堤



既設溪流保全工



『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成30年4月20日		
		作成部署	建設交通部砂防課		
事業名	坂川通常砂防事業	地区名	長岡京市粟生 地内		
概算事業費	2.3億円	事業期間	平成30年度～平成34年度		
事業概要	砂防えん堤1基、溪流保全工				
目指すべき環境像	事業箇所周辺は里山の豊かな自然環境を残している。事業実施に当たっては、地元住民やNPOとも連携をとりながら、自然環境に与える影響を可能な限り小さくするように配慮する。また、木製土留めブロックや自然石、化粧型枠を採用するなどして景観の保全を図る。				
関連する公共事業	なし				
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	ウラジロミドリシジミやゲンジボタルの生息が確認されるなど、豊かな自然環境が残されており、自然環境の改変や野生動物の移動経路の分断を極力避ける必要がある。	溪流環境の連続性を保つため、えん堤に大暗渠を設置する。 生物の縦断的、横断的な連続性を保つため、溪流保全工の斜路化や多孔質ブロックを採用する。		
	地形・地質			○	3
	物質循環(土砂移動)			○	4
	野生生物・絶滅危惧種			○	3
	生態系			○	3
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	溪流下流に人家等が位置しているため、工事期間中は工事車両による騒音・振動を抑制する必要がある。また、建設発生材を極力リサイクルする必要がある。	工事実施中は、低騒音・低振動機械を使用することを原則とする。 また、建設発生材は当該工事や近傍の公共工事等と調整し、再利用に努める。		
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動			○	3
	廃棄物・リサイクル			○	3
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
	その他				
地域個性・文化環境	景観	施工地周辺には、地域の代表的な文化的景観である光明寺や里山の自然的景観などが残されており、十分な配慮を行う必要がある。	えん堤の表面修景や溪流保全工の材料の選定に際し、周辺の環境や景観との調和に配慮し、自然石ブロックや木製構造物を採用する。 地域住民やNPOと連携を図りながら、環境対策に努める。	3	
	里山の保全			○	3
	地域の文化資産			○	3
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働			○	4
	その他				
外部評価					